

=====  
\*\* 日本学術会議ニュース・メール \*\* No.23 \*\* 2006/07/21 \*\*  
=====

インターアカデミーカウンスル（IAC）報告書  
「科学における女性 - Women for Science」に対する会長コメントについて

日本学術会議が加入している「インターアカデミーカウンスル」(IAC) は、「科学における女性」(IAP Statement on the Women for Science) を6月20日に公表しました。

これに対する黒川会長のコメントを下記のとおり発表しましたので、お知らせします。

なお、同様のものを日本学術会議ホームページ (<http://www.scj.go.jp/ja/info/kohyo/comment/060718.html>)に掲載していますので、ご参照ください。

【本件担当】

日本学術会議事務局 参事官（国際業務担当）付

大野・名塚・吉田

〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34

TEL: 03-3403-1949, FAX: 03-3403-1755

e-mail : i253@scj.go.jp

=====  
==

記

日本学術会議会長コメント

平成 18 年 7 月 18 日

日本学術会議が加入している国際学術団体であるインターアカデミーカウ  
シル（IAC）は、「科学における女性 - "Women for Science"」と題する報  
告書を取りまとめ、本年6月20日に公表しました。

この報告書では、学術会議会員に占める女性の割合が一般に5%未満である  
など、科学技術分野における女性の参画が不十分であり、それを正していくた  
めに各国の学術会議は速やかな行動を取らなければならないと指摘し、それ  
にはまず、学術会議自らが女性を力づけ、支援していく内部の運営を実施すると  
ともに、政策決定者やその他のリーダーに働きかけてより広い変革を求めてい  
くことが必要だとしています。

日本学術会議では、昨年10月から始まった第20期において会員の20%  
が女性となり、常置の「科学者委員会」の下に「男女共同参画分科会」を、ま  
た、課題別の委員会として「学術とジェンダー委員会」を設置するなど、この  
問題に以前から積極的に取り組んでおり、今後とも努力してまいり所存であり  
ます。さらに、国際的な学術団体や国連機関とも緊密に連携し、この問題を含  
め、世界的な諸課題の解決に向けて積極的に貢献してまいります。

日本学術会議会長 黒川 清

参考：Inter Academy Council ホームページ  
(<http://www.interacademycouncil.net/>)

---

日本学術会議ニュースメールは、日本学術会議第20期会員・連携会員、  
日本学術会議協力学術研究団体に配信しています。転載は自由ですので、  
関係団体の学術誌等への転載や関係団体の構成員への転送等をしていた  
だき、より多くの方にお読みいただけるようにお取り計らいください。

また、メールアドレスの変更等がありましたら、事務局  
([p228@scj.go.jp](mailto:p228@scj.go.jp))まで御一報いただければ幸いです。

---

発行：日本学術会議事務局 <http://www.scj.go.jp/>  
〒106-8555 東京都港区六本木 7-22-34